

様式1 (共通様式)

01	新規	02 受付番号※	04 法人番号		06 適格組合証明	取得年月日	年	月	日
	更新					03 業者コード	05 建設業許可番号	-	番号

注)05については建設工事に係る競争について申請する場合に記入する。

一般競争(指名競争)参加資格審査申請書

令和5年度において、新見市で行われる入札に参加する資格の審査を申請します。

なお、この申請書及び添付書類の内容については、事実と相違しないことを誓約します。

令和 年 月 日

新見市長 殿

07	本社(店)郵便番号	<input type="text"/>	-	<input type="text"/>	都道府県	市区町村	町名番地			
08	本社(店)住所	<input type="text"/>								
09	商号又は名称	フリガナ	<input type="text"/>							
		略号	<input type="text"/>							
10	代表者役職	<input type="text"/>								
11	代表者氏名	フリガナ	セイ:	<input type="text"/>	メイ:	<input type="text"/>				
		姓:	<input type="text"/>	名:	<input type="text"/>					
12	本社(店)電話番号	<input type="text"/>	-	<input type="text"/>	-	<input type="text"/>				
13	担当者	部署名(所属名)	<input type="text"/>				セイ:	<input type="text"/>	メイ:	<input type="text"/>
		役職名	<input type="text"/>				姓:	<input type="text"/>	名:	<input type="text"/>
※代表者が申請担当者を兼ねる場合、役職を記載										
14	担当者郵便番号	<input type="text"/>	-	<input type="text"/>	※本社(店)と同じ場合には、郵便番号欄を空欄とし、住所欄に「本社と同じ」と記載					
15	担当者住所	都道府県	市区町村	町名番地						
16	担当者電話番号	<input type="text"/>	-	<input type="text"/>	-	<input type="text"/>	(内線番号 <input type="text"/>)	※本社(店)と同じ場合には、「本社と同じ」と記載		
17	担当者メールアドレス	<input type="text"/>				@	<input type="text"/>			

様式1 (共通様式)

(18 代理申請時使用欄)

セイ： メイ：

18 申請代理人氏名 姓： 名： 行政書士登録番号

郵便番号 -

住所 都道府県 市区町村 町名番地

電話番号 - -

メールアドレス @

19 外資状況

<input type="checkbox"/> 1 外資なし	<input type="checkbox"/> 2 外国籍会社 [国名： <input type="text"/>]	<input type="checkbox"/> 3 日本国籍会社 [国名： <input type="text"/>] (外資比率：100%)	<input type="checkbox"/> 4 日本国籍会社 [国名： <input type="text"/>] [国名： <input type="text"/>] (外資比率： <input type="text"/> %) (外資比率： <input type="text"/> %)
---------------------------------	--	--	---

20 営業年数 年 (合併等後 年 ヶ月)
↑ 建設工事の競争入札参加資格申請において、合併等から経営事項審査の基準日までの期間が5年未満の場合に記載。

21 常勤職員の人数(人)

①技術職員	②事務職員	③その他の職員	④合計	⑤役職員等(④の内数)
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	0	<input type="text"/>

22 設立年月日(和暦) 年 月 日

23 みなし大企業 下記のいずれかに該当する 該当しない

- 発行済株式の総数又は出資金額の総額の2分の1以上を同一の大企業が所有している中小企業
- 発行済株式の総数又は出資金額の総額の3分の2以上を大企業が所有している中小企業
- 大企業の役員又は職員を兼ねている者が、役員総数の2分の1以上を占めている中小企業

※欄については、記載しないこと。